

滋賀県の特別支援教育における外部専門家活動報告2

～ 窒息リスクにSTが今できること～

富田 朝太郎 こどもとおとなのコミュニケーション支援相談室 きりりん



はじめに



2023年ST学会発表

滋賀県養護学校での療育相談

- ・外部専門家活動状況
- ・相談実績と内容、対応

STに求められる役割

STが今できること

詳細はこちら



障害種別の摂食状況

肢体不自由

- 概要 摂食療育相談件数の9割占める
- 内容 摂食嚥下機能、姿勢、食形態、介助方法
- 提案 個別性に応じた摂食対応

知的障害

- 概要 摂食療育相談件数少ない
 - 状況 自力摂取、部分介助
 - 特徴 詰め込み食べ、丸飲み、水分摂取しない
- Com段階 | 意図的伝達段階、命題伝達段階

窒息リスクの高さ

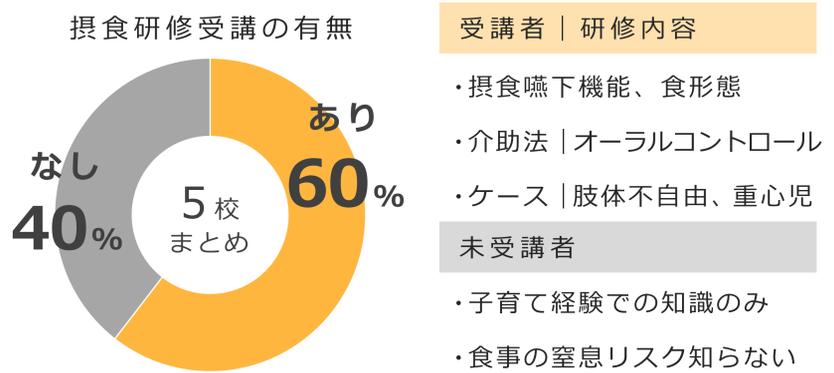
現状と課題

給食でのヒヤリハット

詰め込み食べ	丸飲み	対応
<ul style="list-style-type: none">・ご飯をかきこんで口いっぱいになり張っていた。・食べ物を飲み込まず次々口の中に入れていた。	<ul style="list-style-type: none">・よく噛まずに飲み込んでつまりかけた。・リンゴ1/4カット丸飲みしてチアノーゼ起こした。	<ul style="list-style-type: none">・食べ物をつめたがどう動けばよいかわからなかった。・苦手な食べ物でさえずきと窒息の判別が難しい。

- ポイント
- ・知的障害児の窒息ヒヤリハット多い
 - ・緊急時の対応方法が周知されていない

摂食の認識



- ポイント
- ・肢体不自由児の摂食指導が主
 - ・摂食研修の未受講者多い

対応

研修概要

実施時期	2022年4月～2024年2月
実施校	5校
対象	学校教員、管理職
時間	1～2時間
参加人数	10～60名
目的	① 窒息リスクの啓発 ② リスク対応の周知
事前データ	・全児童生徒の富田分類、摂取状況 ・窒息リスク Com段階 x 摂取状況

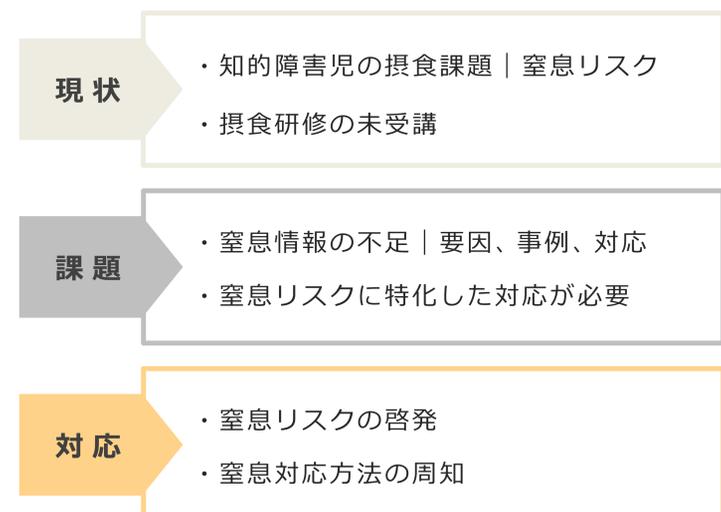
研修内容



摂食機能	身体構造、機能の発達、発達段階
摂取状況	自力摂取、部分介助、全介助、経管栄養
摂食リスク	誤嚥、誤飲、窒息 要因、事例
窒息対応	3期 事前、食事中、事後
窒息データ	窒息リスク状況の可視化

まとめと展望

学校給食の実際



窒息リスクにSTが今できること

